

西陣織会館リニューアル記念展

「西陣美と技の伝承」

12月20日まで 3階・西陣織史料室
西陣織会館(京都市)規模なりリニューアル工事が完了し新装オープンした。人気の「きものショー」を行なう。3階に移転拡大した他、同3階にある西陣織史料室も改装された。そのリニューアルを記念して、同史料室では西陣織の名品を集めて展示している。



紅地雪輪青海波に水仙文様唐織能装束 山口安次郎作 平成3年(1991) (江戸時代後期三引くの復元)

念献上品として製織された作品と同じ能装束や、人間国宝の喜多川平朗と喜多川儀二が作りあげた二階織物の几帳、フランス日本大使館の室内装飾に使用された壁張地の軸装、西陣金襴会70周年記念に作られた金襴製貼交屏風、西陣にとつて画期的な技術革新をもたらした木製ジャガード機など多岐に亘り、西陣が誇る技術と美しい西陣織の文化を紹介している。
開館時間は10時～18時。会期中無休。入場無料。

オリジナルブランド 二枚看板で堅調 ウライ

ウライの振袖は、4年目となる「ローラ」と、今年からスタートした新ブランド「にころん」Furisode styleのオリジナルの二枚看板ブランドが人気をけん引する形で取り扱いは増やしている。



藤田ニコルさんをキャラクターとした「にころん」

ており、振袖全体の売上高も好調に推移している。また、「にころん」振袖のコーディネートに使用した同社のオリジナル振袖用小物が得意先から好評を集めていることから、小物だけを独立させて「うららコレクション」と題し展開している。草履やバッグをはじめ、カラフルな色彩でかわいらしくポップなアイテムが充実しており、追加受注やリピート注文なども可能。今後も継続的な展開を視野に入れているという。

「型紙」を学術資料として共有化へ 10月29日・30日 ワークショップ

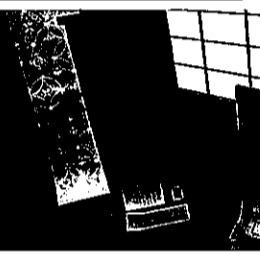
立命館大学アート・リサーチセンター(京都市北区)は、「国際ワークショップ」学術資料としての『型紙』資料の共有化と活用に向けて、10月29日・30日に同センター内で行なう。

近年、世界各地で染色用の型紙の展覧会や研究会が開催され、「型紙」の学術研究が盛んになりつつある。その一方で、これまでには研究者個人や各所蔵機関が独自に型紙研究を進めてきた経緯があり、手法も確立されてはいなかった。大量に現存する型紙を整理するには、研究者や所蔵機関が連携をとりながら研究を推進する必要がある。その場合、国を超えた連携には、デジタル技術やWEBが欠かせないため、同ワークショップでは、これらを駆使して各機関が連携を図るには何が必要かを探る。

29日には、立命館大学の鈴木桂子教授による「国際的な型紙研究の基盤構築と活用に向けて」と題した開会宣言、三重県立美術館学芸員の「道具」から『資料』へ、これからの型紙研究へ向けると題した研究報告をそれぞれ発表する。また、西陣・まこ

唐織帯や「よろけ紬」 着尺など 春物新作を発表

増盛(京都)は、このほど、同社オリジナル商品として唐織の来春向新作帯の発表を発表した。また、西陣・まこ



そのほか、小森織物の錦織をはじめとした袋帯や、色無地などに最適な唐織の太鼓柄の帯、名古屋帯、箔錦、錦、ビーズ入りの帯、振袖用袋帯なども発表した。

「きものday結城」

11月12～13日 結城市北部各所で

晩秋の茨城をきもの姿で彩る「きものday結城」が11月12日・13日、結城市北部市街地で行なわれる。JR結城市駅前・結城市民情報センターではミニライブや、本場結城紬の反

購買客増も売上高減 7ヶ月連続マイナス 全国百貨店9月売上高

日本百貨店協会は、このほどまとめた全国百貨店の9月の売上高は、前年同月比5.0%減(店舗数調整後)7ヶ月連続マイナスの42.3億円余となり7ヶ月連続のマイナスに終わった。調査対象百貨店は81社236店。経済不安などによる先行きの不透明感から、消費者の節約志向が高まっていることに加え、天候不順や休日1日減などによる入店客数への影響が要因。また、国内市場(シェア97.1%)が4.8%減。インバウンド(シェア2.9%)は購買単価の下落から売上は10.1%減と6ヶ月連続で前年を下回った一方、

独創の白生地

井登美の 平田組紐

株式会社 井登美株式会社

京都市下京区室町通高辻下ル
TEL 075-351-8957

株式会社 丸山
本社 077-243-0278
分室 075-841-1478

宮廷「大礼」文化の世界を紹介

11月13日まで 京セラ美術館

近世京都の宮廷文化展覧会実行委員会は、京都市、京都府神社庁、京都新聞社の後援を得て、「近世京都の宮廷文化」展を11月13日まで、京都市伏見区にある京セラ美術館(京セラ本社ビル1階)で開催している。

京都では、平安建都(794年)以来、宮廷を中心に雅な文化が花開いてきた。その宮廷文化の粋を形を表す最高の晴れ舞台が、代始めの即位式と大嘗祭にほかならない。同展では、小原家文庫(皇學館大学佐川記念神道博物館)をはじめ大切に伝えられてきた大礼(即位式・大嘗祭)に関する資料に加え、徳川秀忠の娘で、後水尾天皇に入内した東福門院(徳川和子)ゆかりの品々など約60点を展示している。

入場無料。